

奉行

2026 SPRING EXPRESS

The Magazine for OBC Members



読者アンケートに答えてプレゼントGET
抽選で100名様に当たる!

特集

「奉行AIフォーラム2026」アンケート結果から読み解く 経理・人事労務業務における AI活用の実態

.....
企業にとって最大のリスクである「事業停止」をどう回避する?
ランサムウェア対策はクラウド化が最適解



通勤費管理は これひとつで

通勤費処理時間
85%削減

通勤費コスト
年間450万円削減
※500名の場合の例

通勤費に関わる法改正、運賃改定にも対応！セミナー開催中

セミナー申込み
資料請求



通勤費の変化にらくらく対応

昨年引き続き、令和8年もマイカー通勤の非課税限度額に関する改正が行われることをご存知ですか？

近年は電車・バスの運賃改定も続き、通勤費の変化を捉えるのは大変です。らくらく通勤費なら、法改正や運賃改定に迅速に対応できます。給与奉行クラウドと自動連携し、申請から支給までスムーズに行えます。

最新の通勤費管理がわかる Web セミナーを開催中です。是非ご参加ください。

らくらく通勤費

検索



株式会社無限 東京都新宿区西新宿 2-7-1 新宿第一生命ビル 14 階
E-mail marke@mugen-corp.jp

奉行EXPRESSへの感想・ご意見、取り上げて欲しい内容などのメッセージをお待ちしております!

プレゼント付きアンケート実施中!

アンケートにお答えいただいた方の中から抽選で100名様に素敵な商品をプレゼント!

※当選者の発表は商品のお届けをもって代えさせていただきます。

〈応募期間〉
5/29(金)まで
www.obcnet.jp▶



プレゼント付きアンケートは、奉行Netサービス ▶ ホーム タブ ▶ 特設サポートサイト・コンテンツ から応募できます。

CONTENTS 2026 SPRING 2026年5月11日発行 通巻第117号

2 特集

「奉行AIフォーラム2026」アンケート結果から読み解く
経理・人事労務業務におけるAI活用の実態
奉行クラウドなら誰でもスグに使える! AI活用法のご紹介

6 特集

企業にとって最大のリスクである「事業停止」をどう回避する?
ランサムウェア対策はクラウド化が最適解

8

【新登場】 従業員様向け 人事・労務領域の統合スマートフォンアプリ
**勤怠も、給与明細も、人事に関する申請も。
働く毎日をこのアプリひとつで!**

10

奉行クラウド導入事例 東京都港区・株式会社Total Life Design

12

奉行クラウド導入事例 愛媛県松山市・大学生協同組合 中国・四国事業連合

14

誰も教えてくれない業務改善のヒントが満載!
リアルな実務から学ぶ、経理のためのお役立ちサイト 経理の畑

15

約40年ぶりの大改正に備える!
改正労働基準法への準備は万全ですか?

中綴じ別冊ファイル 保存版 奉行ワンポイント講座

17

職場の「困った」を解決! **バックオフィス気になるキーワード**

18

プロフェッショナルひろば
株式会社エスティワークス/社会保険労務士事務所エスティワークス 佐藤 貴則氏

20

【特別連載コラム】 多様化時代の新常識! **「離職を防ぐ」令和のマネジメント術**(第1回)

22

スキルアップポイント
五月病の基礎知識と職場ケアのポイント

24

スキルアップポイント
経理が会社を変える! 令和8年度税制改正から読み解く「儲かる投資」のヒント

26

【特別連載コラム】 10年先も揺るがない会社へ **逆境をチャンスに変える資金戦略**(第1回)

28

おいしい・カンタン・脳に効く **脳に喝! レシピ**

29

仕事の合間に一息 **頭のストレッチ(三字熟語しりとりパズル)**

30

身につけたい 現代人の基礎知識 **“働く”をよく知るための「労働経済学」**

32

基本を極める **ビジネスの心得**

33

プレゼント付きアンケート告知、読者の声 他

OBC NETWORK

- 東京支店 TEL 03-3342-1870(代)
〒163-6030
新宿区西新宿6-8-1 住友不動産新宿オークタワー30F
- 大阪支店 TEL 06-6367-1101(代)
〒530-0018
大阪府北区小松原町2-4 大阪富国生命ビル23F
- 名古屋支店 TEL 052-589-8930(代)
〒450-6325
名古屋市中村区名駅1-1-1 JPTワー名古屋25F
- 札幌支店 TEL 011-221-8850(代)
〒060-0003
札幌市中央区北三条西4-1-1 日本生命札幌ビル10F
- 仙台支店 TEL 022-215-7550(代)
〒980-0811
仙台市青葉区一番町1-9-1 仙台トラストタワー20F
- 関東支店 TEL 048-657-3426(代)
〒330-0854
さいたま市大宮区桜木町1-11-20 大宮JPビルディング12階
- 横浜支店 TEL 045-227-6470(代)
〒220-0011
横浜市西区高島1-1-2 横浜三井ビルディング15F
- 静岡支店 TEL 054-254-5966(代)
〒420-0857
静岡市葵区御幸町11-30 エクセルワード静岡ビル5F
- 金沢支店 TEL 076-265-5411(代)
〒920-0031
金沢市広岡3-3-11 JR金沢駅西第四NKビル10階
- 広島支店 TEL 082-544-2430(代)
〒730-0031
広島市中区紙屋町1-2-22 広島トランヴェールビルディング4階
- 福岡支店 TEL 092-263-6091(代)
〒812-0039
福岡市博多区冷泉町2-1 博多祇園M-SQUARE 9F

「奉行AIフォーラム2026」アンケート結果から読み解く 経理・人事労務業務における AI活用の実態



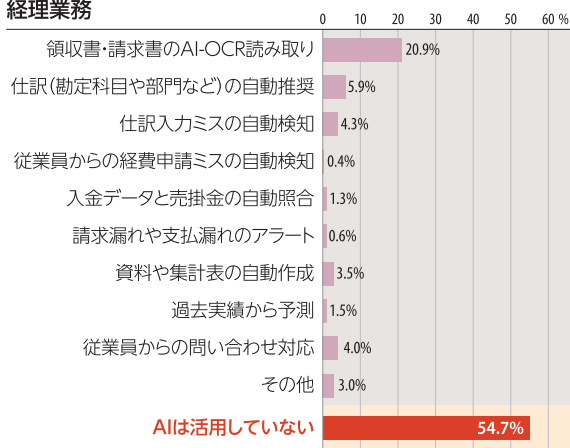
各社はAIを
どの程度使っている？

2026年2月、「AIはバックオフィス業務にどのように活用できるか」をテーマに、AIの最新動向や業務での取り入れ方を解説するオンラインイベント「奉行AIフォーラム2026」が開催されました。申込者は約4000名に上り、改めてAIに対する関心の高さがうかがえました。そうした中、気になるのは、各社がAI活用をどう進めているかです。本特集では、イベント内で実施したアンケートのリアルな声をもとに、経理・人事労務業務におけるAI活用の現状や意向、ニーズ、課題などの実態をレポートします。

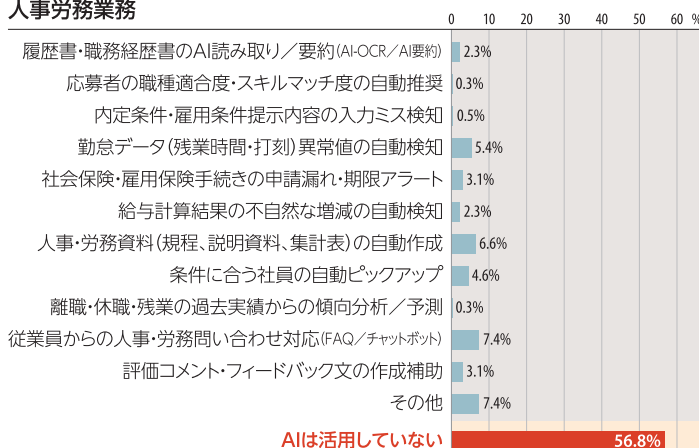
AI活用の現状

業務においてAIを活用しているシーンはありますか？

経理業務



人事労務業務



バックオフィス業務でのAI活用は限定的

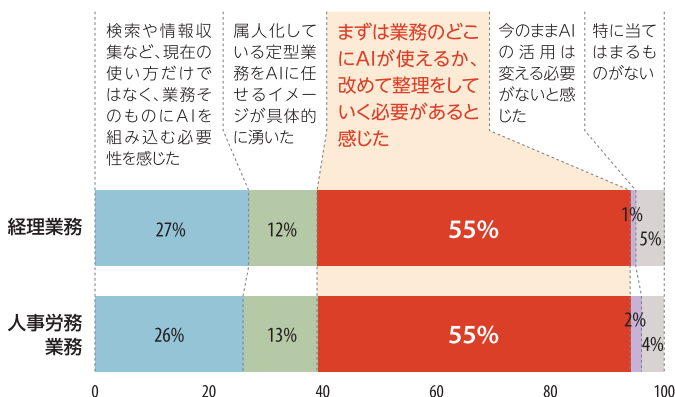
経理と人事労務担当者の方に、業務でのAI活用の現状を聞いたところ、過半数の方が「AIは活用していない」と回答しています。バックオフィス業務でのAI活用はまだ限定的な段階であることが分かります。

また、活用している企業の業務としては、経理では「領収書や請求書のAI-OCR読み取り(AIによる証憑のデータ化と自動仕分け)」や

「仕訳(勘定科目や部門など)の自動推奨」「仕訳入力ミスの自動検知」、人事労務では「従業員からの人事・労務問い合わせ対応(FAQ/チャットボット)」、「人事・労務資料(規程、説明資料、集計表)の自動作成」などが比較的多く、部分的な業務の省力化の手段としてAIを活用している実態がうかがえます。

AI活用の意向

セミナーを通じて、今後の業務におけるAI活用についてどのように感じられましたか？

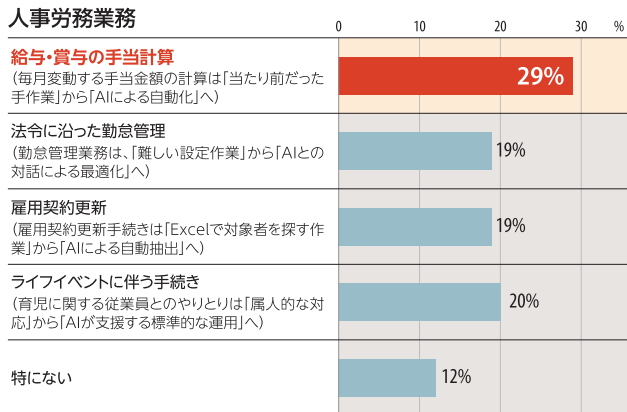
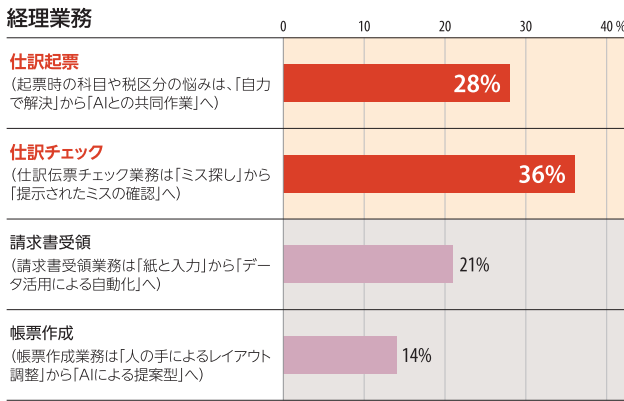


AI活用の前段階として「使いどころ」を見極めたい

今回の「奉行AIフォーラム2026」への参加を通じて、業務そのものへのAIの組み込みの必要性を感じたり、定型業務をAIに任せるイメージがついたりするなど、AIへの関心が高まる傾向が見られた一方で、全体の半数以上が「まずは業務のどこにAIが使えるか、改めて整理をしていく必要があると感じた」と答えています。つまり、AIを使う前段階として、自社業務の棚卸しとAIの使いどころの見極めが課題であると、多くの経理や人事労務担当者の方々は認識されているといえます。

AI活用のニーズ

今回ご紹介したAI活用業務スタイルのうち、業務に取り入れたいと思ったものを選択してください。



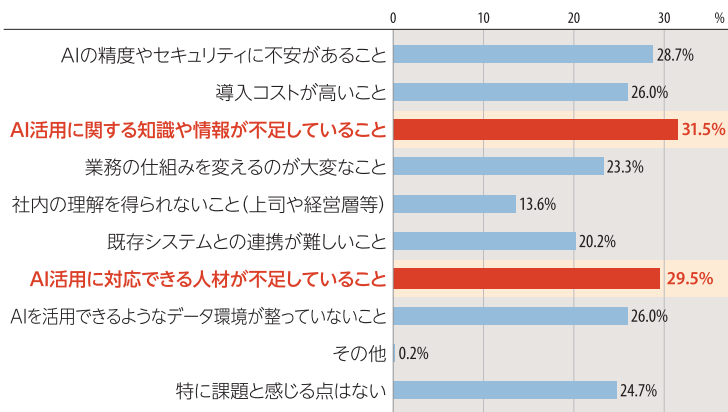
経理はミス防止と判断業務、人事労務は定型業務でのAI活用ニーズが高い

バックオフィス業務を担う担当者は、どのような業務にAIを取り入れたいと考えているのでしょうか。経理業務で最も関心が高かったのが、AIが異常仕訳を自動検知する「仕訳チェック」です。人によるミスの見落とし防止や確認作業の負担軽減に対する期待が大きいです。また、AIが最適な仕訳提案を行う「仕訳起票」によって人の判断をAIが補助し、仕訳の品質と業務効率の向上を望む声も大きいようです。

それに対し、人事労務業務で最も関心を集めたのが、「給与・賞与の手当計算」です。これは毎月発生する定型業務でありながら、作業負荷が大きく、正確性も求められます。そうした人にとってシブシブな業務であるからこそ、AIによる自動化ニーズが高くなっているといえます。また、「特にない」という回答は少ないことから、多くの担当者の方が、AI活用に可能性を感じていることが分かります。

AI活用の課題

業務でAIを導入する際に課題と感じる(感じた)点はありますか？



AI活用に対応した知識や情報、人材が不足している

バックオフィス業務でAI活用を進めるには、課題があることも担当者の方々は認識されています。最も課題感が大きいのが、AI活用に関する知識や情報が不足していることです。さらに、AI活用に対応できる人材が不足していることも、現場の問題意識として挙げています。AI活用には関心があり、具体的に使ってみたい業務も明確化されているものの、ナレッジやリソースが不足しており、一歩踏み出すことが難しい状況を物語る結果となっています。

アンケート結果から読み取れる企業の本音

AIを業務で活用したいが、「業務に合う使い方が分からない」

実務者目線で
見ているからこそ慎重

アンケート結果から見てきたのは、AIを使いたい、「業務に合う使い方が分からない」と多くの企業が考えているというリアルな姿です。裏を返せば、「しっかりと業務に役立てたい」「現場できちんと使える形で取り入れたい」と実務者目線で見ているからこそ、導入に慎重になっているといえます。

「業務に
どう組み込むか」が
AI活用の鍵

すなわち、AI活用を推進するためには、業務にどう組み込むかが鍵となります。そこで、奉行クラウドが提案しているのが、「AIとともに働く」の具現化に向けた日常に自然と溶け込むAI業務シナリオという考え方です。バックオフィス業務を長年支えてきた奉行ならではの独自のノウハウをベースに、「どの業務で、どう使うか」がイメージできる形でAIを提供し、企業がAI活用に一歩踏み出せる機会を創出していきます。

次ページ以降ではどのように業務に組み込んでいくかを、奉行クラウドに搭載されているAIとともに詳しく解説していきます！

奉行クラウドなら誰でもスグに使える!

奉行クラウドのAIは専門知識不要で、業務担当者であればどなたでもスグに利用することができます。日々の業務の中でどのようにAIを活用できるのか、経理業務と人事労務業務での活用法をご紹介します。

経理業務のAI活用法

使用する勘定科目に悩んだ際は、AIが最適な仕訳を提案!

一人で悩む時間が無くなり、今まで以上に正確かつスピーディな仕訳起票を行えます。

仕訳起票時、使用する科目や税区分に迷ったときは、最適な内容が見つかるまで自分で探す必要があります。奉行クラウドのAIを活用すると、取引内容を入力するだけで適切な仕訳が提案されるため、一人で悩むことなく仕訳起票を行えます。

仕訳起票の流れ

3万円の減価償却費の仕訳を教えて

知りたいことは会話形式で質問するだけ!

ボタンをクリックするだけで仕訳起票が完了!

こんなお悩みを解決!

- ✓ たまにしか発生しない取引の起票は科目確認に時間がかかる
- ✓ 消費税区分の確認のために過去の仕訳を都度検索しており手間がかかる

仕訳伝票の内容チェックはAIにおまかせ!

人の目でミスを探す作業は無くなり、AIが検出したミスを確認するだけになります。

仕訳チェック作業では、登録している仕訳伝票が誤っていないかの日次での確認や、試算表や元帳での月次での数字チェックに労力がかかります。奉行クラウドのAIを活用すると、誤っている可能性の高い仕訳をAIが自動検知。人の目でミスを探す作業は無くなり、提示されたものを確認するだけになります。

仕訳チェックの流れ

仕訳伝票の確認

AIでチェック

AIアシスタント

修正対象のリストアップはボタンをクリックするだけ!

こんなお悩みを解決!

- ✓ 目視でチェックはしているものの、仕訳内容に誤りや漏れがないか不安
- ✓ 月次の数字を締めた後にミスが発覚して修正をしている
- ✓ 仕訳に誤りがないかのチェック作業に時間がかかっている

EVENT INFORMATION

奉行クラウドのAIを実際に触れる
奉行AIハンズオン体験会 開催中!

奉行クラウドが提供するAIを無料で触っていただけるハンズオン体験会を全国各地域で実施いたします。具体的なシナリオと操作は講師がサポートしますので、ITに不慣れな方も安心してご参加いただけます。

AI活用法のご紹介

人事労務業務のAI活用法

これまでExcelで行っていた手当計算は、奉行のAIアシスタントで自動化！
ミスの心配なく、素早く正確に給与・賞与計算を終えられます。

役職や家族構成、働き方などによって変動する手当金額などは、Excelを使って計算する必要がなくなります。奉行クラウドのAIを活用すると、手当を自動で計算。昇格や組織改編があってもミスなく素早い給与・賞与計算を実現します。

給与計算の流れ

AIに置き換え

手当の計算 → 給与計算システムへの入力 → 振込データの作成

20歳未満の家族に対して、1人当たり5,000円を支給したい

支給4「家族手当」に以下の計算式を生成しました。

扶養親族人数 × 《人数-年齢 < 20》 × 5,000

適用(A)

自社で支給している手当の条件をAIに伝えるだけ！

20歳未満の家族が1人の場合 → 家族手当 計 5,000

20歳未満の家族が2人の場合 → 家族手当 計 10,000

AIによって自動生成された計算式で手当が自動計算！

あらゆる企業の手当計算をAI活用で自動化できます！

手当項目(例)	自動計算の例	検索例
食事手当 / 食事補助	◎ 食事回数 × 補助額	1日あたり150円を支給したい。
勤務地手当 / 燃料手当	◎ 勤務地をもとに自動支給 ◎ 11月～3月など月に応じて自動支給	勤務地が北海道の場合、11月から3月は1万円支給したい。
住宅手当 / 家賃補助	◎ 勤務地や家族構成をもとに〇〇円 ◎ 家賃10万円以上なら5万円、10万円未満なら半額支給	家賃が10万円以上なら5万円、10万円未満なら半額支給したい。
単身赴任手当	◎ 単身赴任者に一律で〇〇円支給	単身赴任者に2万円支給したい。
家族手当 / 扶養手当	◎ 扶養する配偶者と子供1人あたり〇〇円	配偶者と子ども1人あたり5000円を支給したい。

さらに! ▶ 従業員の申請にもAIを活用!

日々提出が必要な勤怠申請は、ワンクリックでAIが自動生成！
修正が必要な勤務を自動表示し、就業規則に沿った申請がミスなく正確に完了します。

設定した勤務体系や過去の申請情報をもとに、申請書がワンクリックで自動生成されます。従業員がスムーズに申請を行えるだけでなく、申請不備による上長や担当者の差し戻しの手間もなくなります。

AIに置き換え

申請が必要な勤務の確認 → 就業規則に沿った申請書の作成 → 承認 / 差し戻し

現在の未申請：4件

今月の未申請

- 2026/03/09 遅刻時間あり
- 2026/03/12 残業時間未計上
- 2026/03/16 未打刻 (出勤)
- 2026/03/16 未打刻 (退出)

申請AIアシスタント

申請が必要な勤務を一覧表示し、AIが申請書を自動生成！

こんなお悩みを解決!

- ✓ 社内規定やガイドを毎回確認しており、スムーズに申請ができていない
- ✓ 従業員から申請に関する問い合わせを受け、対応に時間がかかっている
- ✓ 申請不備による差し戻し対応が手間になっている



●開催スケジュールはお近くの営業所へお問い合わせください

- | | | |
|-----------------------|-----------------------|----------------------|
| 首都圏… TEL 03-3342-1870 | 横浜… TEL 045-227-6470 | 大阪… TEL 06-6367-1101 |
| 札幌… TEL 011-221-8850 | 静岡… TEL 054-254-5966 | 広島… TEL 082-544-2430 |
| 仙台… TEL 022-215-7550 | 金沢… TEL 076-265-5411 | 福岡… TEL 092-263-6091 |
| 関東… TEL 048-657-3426 | 名古屋… TEL 052-589-8930 | |

企業にとって最大のリスクである「事業停止」をどう回避する？

ランサムウェア対策はクラウド化が最適解



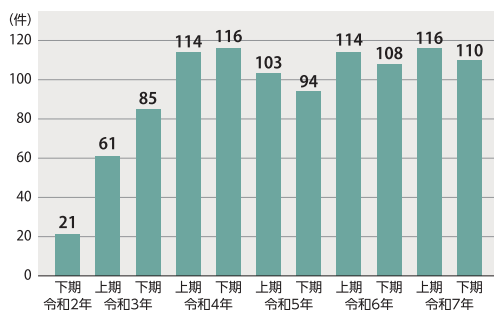
サイバー攻撃の標的、実は中小企業が6割

近年、企業に対するサイバー攻撃が増加傾向です。特に深刻なのが、ランサムウェアによる被害です。報道によって大企業が標的とされた事件が明るみになっています。しかし、注目すべきは、その被害が中小企業にも広がっている点です。警察庁が発表したレポート「令和7年におけるサイバー空間をめぐる脅威の情勢等について」によると、ランサムウェアによる被害企業の約6割を中小企業が占めています。中小企業は専門のIT人材が不足しており対策が

脆弱だったり、下請け企業が多くサプライチェーンの入口となっていたりすることから、狙われやすい状況になっています。

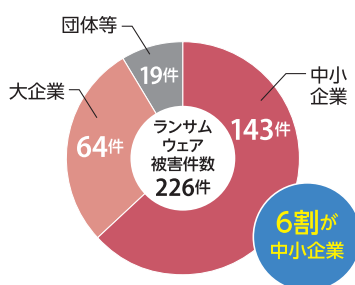
ランサムウェアが脅威となっているのは、攻撃を受けると社内の業務システムが停止し、事業が継続できなくなるケースが多発しているからです。ただ、大きな経営リスクであることは間違いありませんが、どのように対策を講じるべきか悩む企業が多いのが実情です。

■ランサムウェアの被害報告件数*



*出典：警察庁「令和7年におけるサイバー空間をめぐる脅威の情勢等について」

■被害企業・団体等の規模別件数*



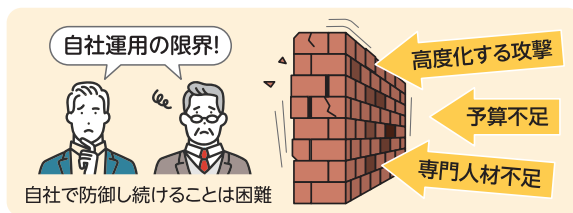
事業が停止し、莫大な被害が出る

- ✗ 業務システム停止
- ✗ 受発注・出荷業務の停止
- ✗ 決算遅延
- ✗ 売掛金の回収不能
- ✗ 過去データの消失
- ✗ 取引先・社員情報の漏洩
- ✗ 支払い不能による信頼失墜

オンプレミス(自社運用)では対策が困難 ランサムウェア対策の最適解はクラウド化

●自社対策はコスト・負荷に加えリスクも増大

自社PC・サーバーでソフトウェアを運用するオンプレミスの場合、ランサムウェアなどのサイバー攻撃に対し、企業側ですべての対策を講じる必要があります。サイバー攻撃の手口は年々高度化しており、予算や人材が不足する中、自社のみで対策を続けていくことは、コストや負荷が大きいばかりでなく、リスクの増大も招きます。



●クラウド化こそ最適解

では、どのように対策を行えばよいのでしょうか。その最適解が、SaaSを利用した業務システムのクラウド化です。ランサムウェアは脆弱性を突いてシステムに侵入し、特別な管理権限やデータを盗み、業務システムを停止させます(詳細は右ページ)。たとえば、オンプレミスはそうした脅威を前に、大切な資産(データ)を自宅の金庫で守っている状態に近いです。

一方、クラウド化はその資産を銀行に預けるようなもの。つまり、大切なデータをクラウド上で保管・管理することができます。そのため、万が一、自社のPCが攻撃されランサムウェアに感染しても、データはクラウド上にあるため、盗まれる危険がなく安全です。クラウドという、自社では実現できない高度な安全性を備えた環境を利用することによって、業務システムを停止させることなく、事業継続を図ることができるのです。



クラウド化のメリット

- ✓ 自社PCが感染しても、データはクラウド上に安全に保管
- ✓ 最新のセキュリティ対策が自動的に適用
- ✓ バックアップや障害対策もクラウド側で実施

安心して
業務継続可能な
環境を
構築できる!

ランサムウェア感染を防ぐなら 万全の仕組みを備えた奉行クラウドが安全・安心!

●ランサムウェアは「特別な管理権限」を乗っ取る

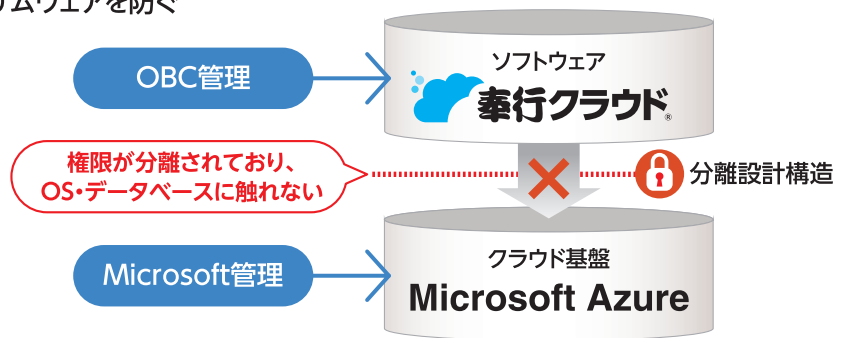
ランサムウェアは、OSの「特別な管理権限」を奪い、重要なファイルを暗号化・窃取した上で、企業に対して身代金を要求するというのが大まかな手口です。企業は重要なファイルやデータベースが使えなくなるため、業務システムが停止し、事業の継続が困難な状態に陥ってしまいます。

その発端となるのは、攻撃者に特別な管理権限を奪われてしまうことです。オンプレミスの場合、企業がその特別な管理権限を保持しているため、ひとたび社内ネットワークへの侵入を許してしまえば、権限が盗まれやすく、システム全体に甚大な被害を及ぼす危険性が高くなっています。



●奉行クラウドは「分離設計構造」でランサムウェアを防ぐ

奉行クラウドは、クラウド基盤にMicrosoft Azureを採用しており、OSの特別な管理権限はマクロソフトのみが保有しています。そのため、OBCを含む第三者が触ることができない仕組みになっています。こうした「分離設計構造」により、特別な管理権限の乗っ取りを前提とするランサムウェア攻撃が、奉行クラウド上で成立しない設計を実現しています。



奉行クラウドが提供する3つの安全・安心のセキュリティ

前述の分離設計構造とあわせて、奉行クラウドは安全・安心を担保する万全のセキュリティの機能と体制を備えています。

1 Microsoft Azureの高い安全性

奉行クラウドが採用しているMicrosoft Azureは、世界トップレベルのセキュリティを誇り、日本政府選定のガバメントクラウドとしても利用されています。データの保管先が国内法が適用される日本国内のデータセンターに限定されていることも利点の一つです。

世界トップレベルのセキュリティ

米国防総省に次ぐサイバー攻撃防衛力での情報を反映

日本政府選定ガバメントクラウド

政府が認めた共通利用クラウド環境

OS・ミドルウェアの自動更新

基盤OSとミドルウェアを自動更新し、常に最新状態を維持

日本国内でデータ保全(6重化)

データは国内法が適用される日本国内のデータセンターのみに保管。東日本をメインとし、西日本をバックアップセンターとして活用。合計6重のバックアップを実現。

高度な監視

毎日6兆件以上の脅威シグナルを分析・対応

2 奉行クラウドの強固なセキュリティ対策

奉行クラウドでは、ソフトウェアのセキュリティ強化策も実装しています。主な強化策は次の5つです。



3 第三者評価に基づく厳格な運用体制

運用体制はメーカーによって様々です。したがって、第三者の評価を得られているか否かが見極めのポイントになります。

奉行クラウドは代表的な複数の制度から認証・評価を受けており、運用面でも安全性が認められています。

SOC1/SOC2報告書を取得 (内部統制/セキュリティ)

国際基準に準拠した第三者監査により、財務報告およびセキュリティに係る内部統制を対象とした[SOC1 Type2][SOC2 Type2]報告書を取得。
www.aicpa.org/soc4so



ISMAPに登録 (政府情報システムのためのセキュリティ評価制度)

政府が求めるセキュリティ要件を満たすクラウドサービスとして、ISMAPクラウドサービスリストに登録。



ASM評価

(外部からの攻撃に対する強さ評価)

最高グレード「A評価」を取得
外部公開IT資産を評価するASM評価において最高グレードの「A評価」を取得しており、外部からの不正アクセスや攻撃リスクに対して十分な対策が講じられていることを示しています。

ランサムウェア対策をはじめ、奉行クラウドのセキュリティ対策の詳細を確認できるガイドブックを無償提供!

システム担当者向けの「奉行クラウドのセキュリティチェックシート」もご用意。ぜひご活用ください。

ダウンロードはこちら



新登場

2026年4月17日アップデート

従業員様向け 人事・労務領域の統合スマートフォンアプリ

勤怠も、給与明細も、 人事に関する申請も。 働く毎日を このアプリひとつで!

『奉行クラウド』をご利用の企業様向けに、『奉行Edge 勤怠管理クラウド』アプリがリニューアルしました。このアプリひとつで日々の勤怠打刻・申請・承認に加え、給与明細の確認や人事労務に関するやりとりが完結できます。

既に『奉行Edge 勤怠管理クラウド for 奉行クラウド』のスマートフォンアプリをご利用中の従業員様は、アプリをアップデートすることで自動的に新しいアプリに切り替わります。元の機能はそのままご利用いただけるため、ご安心ください。

『奉行Edge』アプリを使用する4つのメリット

メリット

1

本業以外の『やらないきゃ』に時間を取られなくなる!

勤怠管理・給与明細・身上異動など、手続きの場所が一つにまとまります。ホーム画面から直接アクセスできるため、迷わず、素早く行えます。

メリット

2

毎日のログイン作業が不要になり、毎日の操作がスムーズに!

アプリダウンロード時の初回ログイン以降は、すべての機能をログイン不要でご利用いただけるため、毎日ログインをする小さなストレスから解放されます。

メリット

3

メールアドレスを使わずに利用できる!

従業員様は社員番号とパスワードでログインできるため、メールアドレスを管理していない様々な業種・業態の場合でも、アプリを使って日々の手続きを効率化できます。

メリット

4

必要な情報は『プッシュ通知』で確認できるから見逃さない!

給与明細が公開されたときや申請が差戻されたとき、アプリにプッシュ通知が届きます。アプリを開かなくても必要な情報が届くので、見落としを防げて便利です。

従業員様にそのまま配付できる、アプリのお知らせチラシをご用意!

すでに『奉行Edge 勤怠管理クラウド』アプリをご利用中の方と、これから新たにアプリをご利用する方向けに、リーフレット2種を公開中! リーフレットは「[奉行クラウドヘルプセンター](#)」や「[奉行まなぼーど](#)」からダウンロードいただけます。詳しくはサポートセンターまでお問い合わせください。



『奉行Edge』アプリの具体的な機能^(※)をご紹介します!

(※)お使いのサービスにより、アプリで利用できる機能が異なります。

勤怠管理

承認依頼や
否認通知が
プッシュ通知で
届く

いつでも
どこにいても
位置情報を
取得して打刻

日々の勤怠管理を
アプリで手間なく



AIが申請書を
自動生成

申請AIアシスタント
2026/3/13の未申請について残業申請を生成しました。
勤務時間は9時00分から19時00分で、残業時間帯は18時00分から19時00分の普通残業時間のみです。この時間帯の残業申請を生成しました。



●対象サービス 奉行Edge 勤怠管理クラウド ※『奉行Edge 勤怠管理クラウド for 奉行クラウド』のみが対象です。

給与明細

過去の明細を
いつでも
見返せる

自分宛の
書類が届くと
プッシュ通知で
お知らせ

給与明細は
いつでもすぐ確認



■アプリで閲覧できる書類

- ・給与明細書
- ・賞与明細書
- ・源泉徴収票
- ・特別徴収税額通知書
- ・標準報酬改定通知書
- ・保険料改定通知書
- ・年次有給休暇付与通知書
- ・標準報酬決定通知書
- ・退職金ポイント通知書、計算書
- ・給与改定通知書
- ・任意ファイル

●対象サービス 奉行クラウド HR DX Suite もしくは 奉行Edge 給与明細電子化クラウド ※『給与奉行クラウド』に連携する『奉行Edge 給与明細電子化クラウド』のみが対象です。

労務手続

PCが無くても
手元で
簡単確認

人事からの
アンケートにも
アプリから簡単に
回答可能

人事からの重要な
お知らせを見逃さない



社内のあらゆる申請が
アプリから簡単に

■アプリでできる申請抜粋

- ・ライフイベントに伴う申請
産育休/家族異動/
住所変更 等
- ・総務への申請
慶弔連絡/備品発注 等



●対象サービス 奉行クラウド HR DX Suite もしくは 奉行Edge 労務管理電子化クラウド

奉行を社労士と「共同利用」して見えた、 保険業界における人事給与業務の最適解

株式会社Total Life Design 取締役 管理本部長
内野 嘉宣氏

導入製品

奉行クラウド HR DX Suite

年末調整・法定調書作成システム
法定調書奉行クラウド

検討のきっかけ

社労士に業務委託しているが負担が減らない 業容拡大で業務効率化が急務に

当社は2019年の設立以来、「保険を、自由に、正直に。」というスローガンのもと、生命保険・損害保険・少額短期保険の代理店業務を通じて、お客様一人ひとりに寄り添ったサービスの提供に努めてまいりました。また、2022年からは金融商品仲介業（IFA）を開始し、金融サービス領域の拡充を通して、より総合的なサービス体制の構築と業容の拡大を図ってまいりました。

そんななか、当社では社労士に業務を委託していましたが、手作業が多く、業務負担を減らせずにいました。具体的には、入社手続きや給与計算などの業務に必要な情報の収集や確認に大きな負担がかかっていたのです。例えば入社手続きについては入社予定者の情報をGoogleフォームで取得し、当社でExcelに転記、社労士へ連携していましたが、転記の手間のほか、マイナンバーなどの個人情報の正確性などの確認が必要でした。

給与計算については給与の形態や手当が複数あり、集計に多大な労力を要していました。また、給与明細書の配付については毎月約8時間かけて個人毎にメールを作成、送信していました。給与計算についても社労士との情報共有はExcelを使用。そのため、給与情報や変更点（手当、控

除、勤務状況など）を共有するためにメール作成、送信などの手作業が必要でした。

従業員に関する情報を一元管理できていないことも改善すべき点でした。例えば保険募集人資格や各生命保険会社の登録コード、会員情報・期限管理など、従業員について管理しなければ

ならない情報は多いのですが、情報が散在していて必要なときにアクセスできない状態だったのです。昨今、保険業界においてはガバナンスの強化が叫ばれており、情報を一元管理できていない状況は企業の信頼性の欠如につながりかねないと考えていました。

そうしたなか、当社では近年、従業員数が増加傾向にあることも相まって、業務効率化と情報の一元管理が急務となっていました。これまでの経験で「社労士に業務を委託しただけでは業務効率化は限定的」であることは理解していました。そこでシステムの活用を検討することにしたのです。



株式会社Total Life Design
営業管理部
秋山 依里氏

導入の決め手

「共同利用」によるシームレスな情報連携に加え、 保険業界特有の給与計算に“最も適する”という社労士の評価も決め手に

社労士への業務委託範囲を変えずに業務効率化できないものか。こう考えていたなかで社労士から推薦を受けたのが奉行でした。奉行の導入を決断した理由は2点です。1つ目は「社労士と一緒に使えるシステム」であることです。奉行ならば、社労士と同じ環境で業務を進められる「共同利用」ができるため、情報連携のための手作業を削減できると考えました。また、社労士が奉行の操作に詳しく、これならば安心して使い続けられると感じました。

2つ目は「奉行は保険業界特有の複雑な給与計算にも対応できる唯一のシステムだ」と社労士から強く推されたからです。社労士によれば「一般的なシステムの場合、給与所得と事業所得を分ける際に手作業が介在してしまうが、奉行を使えば手作業は不要になる。さらに、奉行は期間限定の手当にも対応できるだけの柔軟性がある。たとえ複雑な給与計算でもExcelなどの手段を別に使うことなく、奉行だけで完結できる」という話でした。これならば業務の効率化が一気に進みそうだと感じていました。

源泉徴収票を簡単に出せることも決め手のひとつになりました。当社

の営業は個人事業主のような報酬体系であり、同時にDC（確定拠出年金）に加入しているケースが多い。そのため、源泉徴収票の作成において事業所得分と給与所得分を分けて記述する必要があります。その際に一般的に何らかの手作業が必要になりますが、奉行の場合、項目設定を行うだけで源泉徴収票を出力できます。奉行を導入すればExcelで源泉徴収票を作成する手間がなくなると感じました。



■企業概要

株式会社Total Life Design

◎所在地…東京都港区芝3-23-1 セレスティン芝三井ビルディング8F

◎URL…<https://tldesign.co.jp/>



2019年設立。生命保険の募集に関する業務を中心に損害保険の代理店業務や少額短期保険の募集に関する業務のほか金融商品仲介業(IFA)も手がける。「保険を、自由に、正直に。」というスローガンのもと、お客さまのご意向や現状を深くお聞きしたうえで、あらゆる選択肢の中から最適な保険を提案。COT、TOT、MDRTなど、保険営業のエキスパートが多数在籍。東京本社のほか浜松支店、九州支店など、全国に6支店。従業員数107名。



導入効果

社労士との連携で、業務全体が効率化 散在していた人事データの一元管理も実現

●入社手続き● 「やることリスト」で社労士とタスクを共有し、都度確認を取る手間がゼロに 社労士からも「進捗が見えることで、対応がスムーズになった」と好評

入社手続きについては情報の入力から確認、連携が一気通貫で行えるようになりまし。例えば、従来ならば確認に手間のかかっていた資格情報や本人確認書類、マイナンバーなどは写真が添付されているので正誤を一目で判別できるようになり、正確かつ迅速に業務を行えるようになりました。奉行には業務の効率化につながるさまざまな標準機能が実装されていますが、当社では「やることリスト」を活用して業務を進めています。具体的にはリスト内で(社労士)などのタグを付けて、タスクや進捗を管理しています。この機能を使えば、タスクに抜け漏れがなくなるだけでなく、進捗状況が一目でわかるので電話やメールなどで確認を取る手間がなくなりました。リスト内で役割分担を明確にしたら、後はリストを上から順に進めていくだけ。このように、社労士と一緒に奉行を使うことで業務効率化の効果を双方が最大限享受できます。

入社やることリスト

- 労働条件通知書の作成(社労士)
- 労働条件通知書の電子通知
- 入社当日に必要な書類の確認
- 社会保険・雇用保険届出書類作成(社労士)

●給与計算● 保険業界特有の給与計算を自動化。年間100時間の業務削減を実現

給与計算については保険業界特有の複雑な給与計算や手当も問題なく対応できています。大きかったのは給与明細の配付に伴う時間を年間約100時間(毎月約8時間)削減できたことです。現在では、給与明細を自動で配信できるようになり、さらに給与明細と一緒に立替経費などほかの書類も設定した期日に一斉配信できるようになったのでとても助かっています。言うまでもありませんが、給与明細は重要な個人情報。従来のようにメールで個別送付することはなくなり、誤送信のプレッシャーから解放されました。さらに、従業員が増えても負荷を増やさずに対応できる体制を整えることができました。

●情報管理● 散在していた情報を集約し、活用できる人事データに

従業員の情報を一元管理できる体制になりました。これにより、保険募集人資格や各生命保険会社の登録コード、会員情報・期限管理など、以前は散在していたこれらの情報を探す手間がなくなったほか、昇格や昇進など、人事管理への情報活用も容易になりました。最近では手作業を介さずにほしい帳票をすぐに出力できるようになっています。例えば年収一覧表を参照して何らかの営業的フォローが必要な従業員を抽出するといったことが簡単にできるようになったのです。

今後の展望

奉行をさらに活用し、企業成長を支える基盤強化へ

奉行を導入して業務効率化は確実に進みました。しかし、まだ奉行を十分に使いこなせておらず、業務効率化は道半ばというのが実感です。そこで今後は身上異動などの諸手続きも奉行でできるようにしていきたいです。そのためには奉行について知ることが重要ですが、OBCにおいてはサポートセンターや「奉行まなぼ」などのユーザー支援が充実していますので、これらを積極的に活用し、業務効率化に役立てていきたいです。

また、当社では積極的に採用を進めており、企業成長のための基盤整備が以前にも増して重要になってきました。具体的にはガバナンスや収益基盤の強化が必要不可欠と考えております。そこで一般社団法

人生命保険協会の定める認定代理店制度に取り組んできました。当社は2023年に認定を受けたのですが、これには多大な労力がかかりました。というのも、認定代理店として認められるためには、生命保険協会が定める「業務品質評価」をすべてクリアする必要があるからです。もちろん、認定代理店はゴールではなく通過点。認定代理店で満足することなく、これからも業務品質の向上に取り組んでいきたいと考えております。

こうした状況にあって業務効率化を実現できたのは本当に大きいです。これからもOBCと社労士にはシステムと人力の両面で当社の成長をサポートしていただきたいと考えております。



30年来使い続けてきた「フルスクラッチERP」から脱却。データ連携の課題を克服し、21法人への導入をわずか1年半で成功へ

大学生協同組合 中国・四国事業連合 管理部 部長
清水 麻理子氏

導入製品

財務会計システム
勘定奉行[®] V ERPクラウド

債務管理システム
債務奉行[®] V ERPクラウド

検討のきっかけ

ERPシステムの刷新を機に、パッケージによる「オープン化」を決断

当連合は1991年の設立で中国・四国地域の大学生協(20会員生協)の事業連合として活動してきました。具体的には商品の共同仕入や中国四国地域での大学生協の設立支援、人事支援、経理サポート等を手がけております。

奉行クラウドの導入前は設立当初から約30年以上にわたり、フルスクラッチのERPシステムを使い続けてきました。このERPシステムは経理のほか仕入や発注、商品管理なども可能なオールインワン型で法改正や事業拡大等に伴い、その都度改修を重ねてきたことで、高度に最適化された一方、運用・維持の観点で見直しが必要な大規模基幹システムとなっていました。もちろん、フルスクラッチでしたから業務に合わせて最適化されていて使い

やすかったのは事実。そのため、これまでシステム入替を検討したことはなく、当たり前を使い続けてきました。ところが、組織再編に伴う開発費・運用費の増加から、このERPシステムの維持が困難になっていました。

そうしたなか、ERPシステムの長年の保守・開発パートナーとともに「パッケージソフトへの移行(オープン化)」を検討することになり、その際、どの業務をオープン化するかが議論になりました。結論としては、仕入等特殊性の強い業務は従来のERPシステムの利用を継続するが、どの会員生協でも同じ業務のやり方である会計はオープン化となり、既存システムの構造を熟知している開発パートナーから奉行クラウドを推薦され、導入を決定しました。

システムに求めたもの

ERPシステムとのスムーズなデータ連携と、グループ運営に特化した環境を追求

新システムの選定にあたって、わたしたちが重視した要件は主に3点ありました。

1つ目は「既存のERPシステムとスムーズにデータ連携が可能」なことです。ここが最も重要なポイントでした。というのも、前述した通り、約30年以上に渡って都度改修を行い、フルスクラッチのERPシステムを使い続けてきましたから、ERPシステムとのデータ連携がシステム入替の難所になることが明らかだったからです。

2つ目は「従来の業務フローを新システムでも継続できる」ことです。やはり、フルスクラッチのERPシステムからの入替でしたから業務フローが大きく変わることが懸念されました。もし、システム入替によってこれまでの業務を適切に回せなくなれば、現場の効率は大きく落ちてしまいます。それは避けたいと思いました。そのため、従来の業務フローを再現できる

柔軟性を求めています。

3つ目は「グループ運営に適したハイクラスな業務環境の提供」です。具体的には当連合と会員生協で容易にデータ共有できる仕組みがあることです。奉行クラウドの場合、会員生協の日々の仕訳等をリアルタイムで確認できるなど、グループ運営をサポートする機能が充実しており「これならば決算業務もずいぶんと楽になりそうだ」と思いました。また、他の大学生協が既に奉行シリーズを導入していたことや全国の導入企業数を見て「奉行なら間違いなし」と判断しました。



大学生協同組合
中国・四国事業連合 管理部
石川 昌子氏

導入プロセス

複雑化するデータ連携の課題を克服し、「4社結束」によってわずか1年半で稼働を実現

設計においては当初の想定通り「既存のERPシステムとのデータ連携」が最大の難所になりましたが、OBCの販売パートナーが展開する連携ソリューション「ITASUKE for 奉行V ERPクラウド」を活用することで、解決の糸口を見ることができました。そこからは設計、検証、見直し、稼働に至るまでの丁寧な支援があり、この難所を乗り越えることができました。

奉行クラウドの導入決定から稼働まで約1年半と期限付のプロジェクトでしたが、当初のスケジュール通り進みました。その理由は綿密な情報共

有と徹底した進捗管理にあったように思います。週2回以上は既存のERPシステムの開発パートナー、奉行クラウドの販売パートナー、OBC、そして当連合の4社で会議を行い、データ連携などの課題について意見交換をしました。その際、こちらがやるべき事項を期限とともにわかりやすく提示してくれたのでとても進めやすかったです。こういったことは本来、高度なマネジメントが求められるため、専任システムインテグレーター(Sier)なしでは困難でしょう。今回、短期間で導入できたのはOBCとパートナー企

■企業概要

大学生協同組合 中国・四国事業連合

◎所在地…【松山事務所】愛媛県松山市道後樋又3-24 大学生協同組合2F

【大阪事務所】大阪市淀川区西中島5丁目8-3 新大阪サンアールビル北館5F

◎URL…<https://www.chushi-bauc.or.jp/>



1991年設立。中国・四国地域の大学生協(20会員生協)の事業連合として活動。具体的には商品の共同仕入や中四国地域での大学生協の設立支援、人事支援、経理サポート等を手がけている。会員生協は学生や教職員を対象とした生活協同組合で、小売店や食堂、宅地建物取引、共済などさまざまな事業を行い、学生の学びと生活を支援している。従業員数46名。

業が強固に結束し、伴走してくれる体制があったからこそ。専任SlerなしでもOBCとパートナー企業の協業でここまでできるのだと敬服しました。

運用においては2025年9月の稼働までに20会員生協への全体説明会とQ&A会を済ませ、稼働開始時には疑問点、不明点のある程度解消できている状態でスタートしました。稼働後の現場からの問合せは当連合で受け、私達にも分からない場合は、開発パートナー・販売パートナー、そしてOBCへ連絡して、その都度適切なサポートを受けています。そして、現場から受けた質問内容はマニュアル化して共有サーバーにアップロードし、必要なときにいつでも参照できるようにしています。マニュアルは文書のほか動画でも作成したのですが、OBCが提供するWeb上の資料や動画がとても分かりやすかったので、スムーズに整備することができました。ちなみに、当連合で作成した操作動画マニュアルはとても好評で手間はかかったものの取り組んだ甲斐がありました。

また、システム刷新にあたって注力したのは「奉行クラウドに変わっても今まで通り業務ができること」です。やはり、システムが変わる以上、すべ

での業務が以前と同じやり方というわけにはいきません。そこで管理帳票類はオリジナルのレイアウトを作成して提供するなど、業務のやり方が極力変わらないように心がけていました。こうすることでシステム変更の不安を最大限取り除けたと思います。

奉行クラウドを使うなかで驚いているのはその抜群の操作性です。奉行クラウドは直感的に操作できるので、入って間もない人でも30分もあれば十分に使えるよう設計されています。具体的には項目を指一本でコピー&ペーストできたり、よく使うメニューを画面の見やすい位置に配置できるなど、初めて奉行クラウドを使う人でも業務を進めやすい仕様になっています。例えば仕訳の「予約機能」を使うと、当日に画面上で起票すべき仕訳を教えてくれるので、起票漏れやミスを減らしながら業務を行えます。



大学生協同組合
中国・四国事業連合 管理部
高橋 泰子氏

導入効果

グループ全体の業務精度とスピードが向上。パッケージ化による「運用の柔軟性」と「安心感」

奉行クラウドを導入したことでグループ全体の業務の質とスピードは格段に向上しています。例えば以前は元帳を確認するだけでも手間がかかっていましたが、今では元帳の画面上から仕訳伝票まで即座にドリルダウンして内容を追跡できます。これにより、決算書をより迅速かつ正確に作れるようになりました。また、会員生協の仕訳をリアルタイムで確認できるようになったことで、従来ならば会員生協に依頼していた仕訳の修正を当連合でサクッと直すことも可能に。このように「待ちの時間」を減らしながら「業務に融通の利く状態」にできたことは嬉しいです。

証憑管理についても、電子帳簿保存法への対応と合わせて大幅な業務改善ができました。以前はExcelで作った仕訳票に、各生協の経理担当職員が証憑をのり付け後、スキャンして共有フォルダに入れており、手間になっていました。さらに紙の仕訳票は毎月分厚いファイル2冊分に及び、保存場所を確保したり、過去の証憑を探し出すだけでも一苦勞でした。奉行クラウドの導入後は紙の仕訳票はほぼゼロになり、画面上で仕訳をクリックすれば取引内容と証憑を同時に見比べて確認できます。従来のように問合せや監査対応のために紙の仕訳ファイルをひっくり返して証憑を探ることがなくなりました。このように奉行クラウドの導入は全職員の心理的・物理的な負担の軽減につながっています。

さらに、パッケージ製品ならではの利点も日々実感しています。その1つ

が「帳票レイアウトの自由度の高さ」です。例えば、債務奉行から支払明細書を作成して毎月取引先に送っていますが、「支払明細書フォーム」のレイアウトを自由に変更できるので大変助かっています。具体的には「今月から支払明細書の記載内容が変わりました」といったメッセージを自由に追記したりできることです。これは一見すると些細な変化に思えるかもしれませんが、しかし、フルスクラッチだとこういったことでもシステム改修や別文書の添付が必要でした。運用に合わせてシステムを育てる感覚で、現場のちょっとした要望に即座に対応できる柔軟性は、奉行クラウドの大きな魅力だと感じています。

そして、最大のメリットは「制度改正への自動対応」です。フルスクラッチの場合、国税の要件を満たしているか独自に検証が必要でした。それが法制度に正しく適合しているのかという不安も拭えませんでした。その点、こちら側で何もしなくても常に最新の制度に適合した状態で利用できるため、安心して業務に専念できています。



大学生協同組合
中国・四国事業連合 管理部
福田 まゆみ氏

今後の展望

経理業務の効率化を目指す。グループ機能の高度化に期待

これまで述べてきた通り、奉行クラウドを導入したことでグループ全体の業務の質がずいぶんと高まりました。今後はさらなる効率化や属人化しない業務体制の構築を進めていきたいです。例えばAI機能による自動仕訳を活用して人手を極力なくすようにしていきたいです。また、奉行は従来のフルスクラッチのシステムと異なり、機能が適宜アップデートされる仕組みなので特にグループ機能の高度化に期待しています。

定期請求や経費明細など、事情があり奉行を使用せず行っている業務

が残っています。将来的にはこれらの業務も奉行でできるようにして経理に関する内容すべてが「奉行に入っている状態」にしたいと思っています。そうすることで、グループ全体の効率化やガバナンスの向上を推進できると考えます。今回のプロジェクトが成功を収めたのはOBC、開発パートナー、販売パートナーの強力な結束があったからだと確信しています。今後も変わらぬご支援をいただきながら、大学生協の未来を支える盤石な経営基盤を築き上げていきたいと考えています。

誰も教えてくれない業務改善のヒントが満載！

リアルな実務から学ぶ、
経理のための
お役立ちサイト

経理の畑



実務の中で「他の会社はどうやってるんだろう?」「もっと良い方法ないかな?」と感じたことはありませんか? そんな時、経理の畑では“リアル”な情報から業務改善のヒントを得ることができます。

経理担当者の「知りたかった!」をお届けするため“生の声”を重視し、実際に企業で経理業務を担当している方々へのヒアリングを行い、実務の内容や工夫を具体的にご紹介!

経理の畑で
分かること

- ✓ 実際の企業で行っている経理業務の流れや工夫
- ✓ 制度対応やAI活用などのリアルな実態や進め方
- ✓ 専門家推奨の業務運用方法や具体的な解決法



経理の畑を
さっそく見てみる

経理の畑



<https://www.obc.co.jp/acfield/>

約40年ぶりの大改正に備える!

改正労働基準法への準備は万全ですか?

テレワークの普及、副業の広がり、急速なデジタル化など、働き方が大きく変化する一方で、現在の労働基準法はこうした新しい働き方に十分な対応ができていません。そのため政府では、新しい働き方に対応するため、約40年ぶりの抜本的な労働基準法の再設計が議論されており、施行されれば単なるルールの変更にとどまらず、勤怠管理の考え方そのものを見直すきっかけになる可能性があります。

〈予定される主な制度改正の内容〉

- 連続勤務の上限規制
- フレックスタイム制の見直し
- 法定労働時間「週44時間」の特例措置の廃止
- 勤務間インターバル制度の義務化
- 勤務時間外の連絡制限
- 有給休暇の賃金算定における通常賃金方式の原則化
- 法定休日の明確な特定義務化
- 副業の労働時間通算ルールの見直し

しかし、改正内容を把握しようと情報収集を進める中で、

- **さまざまなサイトで情報収集をしたものの、情報が散在していて整理できない…**
- **改正対応以前に、そもそも現行の勤怠管理が法令に準拠できているのか不安…**
- **今の勤怠管理を見直し検討しているけれど、どこから手をつければいいのかわからない…**

といった悩みに直面するケースは少なくありません。



そこで、改正内容から勤怠管理の見直しポイントまでをまとめて確認! 制度改正のあらゆる不安が解消される 改正労働基準法ポータルサイトを公開しました!



POINT 1

全8つの改正論点で 改正概要から必要となる実務まで徹底解説!

改正労働基準法に関する最新の議論の中から、人事・労務担当者の実務に影響の大きい8つの改正論点を整理・解説しています。制度改正の概要から実務上の対応ポイントまでを体系的に確認できます。



POINT 2

制度改正が施行される前に確認! 現行の勤怠管理の法令遵守チェック

改正労働基準法が施行される前に、現行の勤怠管理が法令遵守に抜け漏れなく対応できるかを確認できるチェックリストをご用意しております。不備がある場合には、制度に沿って整備すべき実務対応のポイントもご確認いただけます。



POINT 3

自社に適した勤怠管理システムがわかる! システム選定時に押さえておきたいポイントをご紹介します

改正労働基準法を機に勤怠管理システムの見直しを検討されている方向けに、システム選定の際に押さえておきたいポイントを整理してご紹介しています。自社に適した勤怠管理システムを、長く活用するための参考としてご確認いただけます。

改正労働基準法に関する情報収集はこれで完結!
制度改正に不安を感じている方は
ぜひこちらのサイトをご確認ください!

<https://www.obc.co.jp/landing/amended-labor/>



保険を、自由に、正直に。

Total Life Design



トータルライフデザインでは、
経験豊富なFP(ファイナンシャルプランナー)が
お客様に寄り添い、一人ひとりに最適な
ライフプランのアドバイスをご提供します。

加入している
保険は自分に
合っている？

こんなお悩みありませんか？

法人保険について
相談したい

教育費や住宅購入
について相談したい

老後の資金が心配

資産運用について

誰に相談しよう？

相続対策は
どうしたらいい？



結婚・出産・住宅購入・退職・転職など人生の節目や、
これからの生活設計についてお悩みやご相談事がある
時に、トータルライフデザインが窓口となって問題
解決のプランを作成・ご提案して実行支援を行うと
ともに、**各種専門家との連携**もしながらご相談者の生
活設計を継続的にサポートいたします！

様々な商品を取り扱っております。



死亡保険



資産形成



自動車保険



火災保険



医療・がん保険



法人形成



ペット保険



ゴルフ保険



保険代理店 / 金融商品仲介業 関東財務局長(金仲)第979号

株式会社 Total Life Design トータルライフデザイン

〒105-0014

東京都港区芝 3-23-1 セレスティン芝三井ビルディング 8F

TEL:03-6722-6072 FAX:03-6722-6073

ご相談はこちらのQRコードから ▶

